



9月16日、JICA北海道(札幌)で家族で楽しめる国際交流イベント、「世界ふれあいひろば 2023 ~もう一度、世界とつながろう~」が行われました。内容は各国の紹介ブース、外国語やスポーツ体験、展示やコンサート、レストランなど盛りだくさんで、セカンドハンド北海道も協力団体ブースとして出展しました。北大で学ぶカンボジアの留学生がブースに立ち寄ってくれたり、カンボジアに派遣中のJICA海外協力隊員とオンラインで結び、カンボジア事情を学んだり、クイズに答えるコーナーもあり、カンボジアとのつながりを改めて感じた1日でした。



今年の夏は、地域のイベントや夏祭りに出店しました。協力隊珈琲(JOCABUCKS COFFEE)とのコラボ商品が大変人気です!協力隊珈琲は、公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)が、青年海外協力隊の派遣先地域から鮮度の良い生豆を厳選し、"協力隊珈琲"と名付けて販売しています。イベント等では、「アニマルストラップとドリップパックのセット」と「カンボジアコットン巾着とドリップパックのセット」を販売しました。これまで、セカンドハンドのことを知らなかった方にも、たくさん手に取つていただけた機会になっています!



協力隊珈琲 (JOCABUCKS COFFEE) 通販サイト



9月にはユースメンバーが実際にカンボジアを訪問し、募金活動で沢山の方に協力して頂き集めた支援金を直接渡せる機会がありました。渡航に備え、事前にユースでは日本を感じさせる和柄の花が描かれた布を使い髪留めを作りました。そして9月初めには高松とカンボジアを繋ぎ、少しの時間ですが現地の学生の方たちとお話しする機会がありました。ユースメンバーで作った髪留めを実際につけてもらったのですが、その時の嬉しそうな笑顔がとても印象に残っています。ユースメンバー一同、貴重な体験ができました。募金活動だけでなく今までの自分では想像すら出来なかった体験で、日々の活動へのやりがいを感じることが出来ました。



6月～8月までの3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】
青野千恵子、阿部カヨコ、安藤一男、伊賀憲子、池内保、太栗啓子、岡本洋功、奥谷照栄、川崎多恵子、片山績、亀山誠子、喜多和也、黒田好子、久保智枝、近藤温子、吳妙專、白川ふみ、清水博子、神内幾代、末澤一誠、俵惠美、竹内美香、玉置麗子、高瀬稔彦、塚田泰代、西川ア里、新居正志、西川みさご、沼田章、のぞみ総合法律事務所、林陽一、林哲夫、橋田洋一、平田桜、堀真王、松原志乃、マンスフィールド雪江、松家春美、美濃吉広、三原主幹、三木佳子、美濃吉広、三木誠、宮本明宜、三輪加奈、山本文子、山本博美、吉本房子、横田千春、若杉淳子、渡部御千子

本部・高松店 年末年始休業：12/30(土)～1/3(水)

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間：月～金 10時～16時

定休日：土曜、日曜、祝日



片原町店 年末年始休業：12/30(土)～1/2(火)

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間：月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時

松縄店 年末年始休業：12/28(木)～1/5(金)

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間：土～水 11時～18時

定休日：木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928

✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/sh/>

SECOND HAND

あなたの手を、世界の誰かに。
Sambot
セカンドハンド通信

9月上旬に実施したカンボジア視察渡航にフォスターarentの堀美紀子さんが同行。里子のアリザちゃんのお宅を訪問したり、バッタンバン名物「バンブートレイン」に乗りに行ったりしながら交流しました。お屋は、生まれて初めてというピザ屋さんへ。お店の前を通るたびにいつか食べてみたいと思っていたそうです。ピザを遠慮がちに口元に運び、嬉しそうにはにかむアリザちゃんが印象的でした。



Contents

カンボジア視察渡航報告

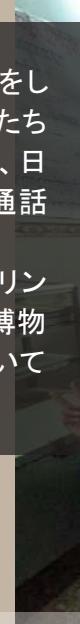
Network

Special Thanks

2023 October
Vol.
114

カンボジア 視察渡航報告

セカンドハンド・ユースとして活動をしている鈴木くんは、支援する奨学生たちと一緒にたこ焼きを作り食べたり、日本のユースメンバーとオンライン通話を行うなどして交流を深めました。また、アンコールワット遺跡群やキリングフィールド、トゥールスレン虐殺博物館を訪れ、カンボジアの歴史について学びました。



ヨハンくんと自宅近くを散歩

渡航の後半にヨハンくんという私達セカンドハンドユースが現在支援している高校生のお宅にホームステイをしました。彼は4人兄弟の次男で家事をしながら高校に通っています。将来は調理師になりたいそうで訪れた日の夕食も手際よく美味しいクメール料理を作ってくれました。また彼の父親は敬虔なクリスチヤンで食事の前に家族と一緒に祈りをしました。家は2階建てで各階1部屋、入浴、洗濯、トイレ、炊事は全て同じ場所で行う生活でした。しかしヨハンくんは寡黙に仕事をこなし就寝前に読書にふける姿がとても印象的でした。

決して豊かとは言えない家庭にあって一人ひとりが自分の役割を全うし、助け合いながら日々の生活の中に楽しさを見出す彼らの生活に触れたとき、普段の生活では出会えない新たな世界観に出会えた気がしました。



慰靈の塔(キリングフィールド)

9月上旬の2週間、カンボジアに渡航し、現地連携団体であるKKEV、ラチャナハンディクラフト、ホームランドを訪問しました。事務局職員と共に渡航に同行したのは、セカンドハンド・ユースの鈴木悠介くん、保健衛生指導の専門家である舟越和代さん、堀美紀子さん(いずれも元香川県立保健医療大学教員)の3名です。



今年より、ホームランドと連携し、栄養指導の実施を計画しています。対象は、ホームランドを通じて支援を行っている貧困家庭で暮らす子どもたち約35名です。今回の渡航では、日本の専門家の方々にご協力を頂きながら、子どもたちの家庭訪問を通じ、食習慣・食生活の調査を行いました。また、周辺の市場では、安価で栄養のある食材を探しました。

●調査内容●

1. 対象者の家庭環境や食生活の実態調査
2. 子どもたちや家族の栄養に関する意識調査
3. 市場で揃う食材調査
4. 指導場所施設の調理環境調査
(設備、調理器具の有無)

(堀さん) 食材は何でも揃いそう。でも価格は日本と同じくらいで日常的に購入するのは難しいかも…



(舟越さん) ご飯に魚醤をかけて食べたり、自生している空芯菜を採取して食べたりする食生活のため、慢性的な栄養不足が予想されます。

(堀さん) 調べてみると、空芯菜には、ビタミン、ミネラルがたっぷり! ほうれん草の4倍の栄養素が含まれていることが分かりました。次回は、空芯菜を使った他のアレンジ料理を紹介してもいいかも!

(舟越さん) 子どもたちの調理スキルが高い! 積極的に手伝ってくれるので、教えたら何でも吸収してくれそう。



小豆島のなかぶ庵さんよりご提供頂いた素麺に加え、魚のホイル焼き、BBQを子どもたちや保護者約50名に振る舞うことができました。なかぶ庵さん、そして食材購入費としてご寄付下さった皆さん、ありがとうございました。



カンボジアの貧困家庭への食料支援にご協力をお願いします。

9月の訪問で、現地の貧困家庭の栄養摂取状況を調査しました。コロナ禍は終わったとはいえ、セカンドハンドが支援している家庭の食生活は大変厳しく、多くは米と空芯菜のみの暮らしかでした。今後、食生活の改善のためのプロジェクトを進めるため、その一環として食料支援を行います。

この支援にご協力いただける方は、振込用紙に「ホームランド食料支援」とお書きください。これからも、お預かりした資金を現地の貧困家庭の食生活改善につなげてまいります。

コロナ禍のカンボジアへの支援額は、3年間で1,023万円余。

2020年に突然始まったパンデミック。セカンドハンドは、緊急支援などで現地の貧しい子どもや女性を支えてきました。3年間（2020-2022）の支援額は、1千万円を超えていました。

財源は、フォスターペアレント、スカラーペアレント制度や、SOS等でお預かりした寄附金とチャリティショップの収益。この間に、ドル円レートは106円から134円に。現地にはドルベースで送金しているため、急激なドル高はセカンドハンドに大変重い負担になっています。

10月から「石井佐也加」さんを事務局職員として採用しました

■就任挨拶■

2023年の10月より、事務局職員として公益社団法人セカンドハンドに入職した石井佐也加と申します。

高校時代に語学研修でイギリスに行き、その時が私にとって人生のターニングポイントとなっています。大学時代はタイに短期留学しました。

経験・知識不足ではありますが、学生時代から国際協力に興味を持っておりましたので、その熱心な気持ちで励んでまいります。

様々な業務を経験させて頂き、日々勉強を積み重ねていきます。

これから宜しくお願い致します。

石井 佐也加

お店番ボランティア募集中（お知り合いをご紹介ください）

チャリティショップを手伝ってくださるボランティアを募集しています。お店番では、店頭での接客や品出し、会計等の作業をしていただきます。

■告知版■

<ぜひお譲りください>

B5用紙（500枚単位 この「ニュースレター別紙」の用紙）

A4用紙（500枚単位）

ステイックのり（郵便書簡の糊付け）、液状のり、ハンドソープ、トイレットペーパー、輪ゴム、

ホッチキス針No.10、修正テープ、水性ペンセット（プロッキー等）（以上、未使用品）

未使用切手・はがき（郵便書簡に交換し、ニュースレターの郵送に使います。今号も皆様に頂戴した切手・はがきを交換した郵便書簡を使ってお送りしています）

紙袋（大中小いすれでも、店舗でお客様のために使います）

<冬物衣料大募集中>

10月中旬からは冬物衣料の受付を開始しています。ご家庭に不要なものがありまし

たら、ぜひご提供ください。

<雑貨の提供をお願いします>

雑貨を探すのを楽しみにチャリティショップに来られるお客様が多いので、雑貨を提供していくだと大変助かります。下記の提供品受付リストをご確認の上、ぜひご提供ください。

<提供品をお送りいただく際に気を付けていただきたいこと>

① 衣類の提供は時期を指定させていただいています。

セカンドハンドは倉庫を持たないので、そのまま店舗に出せるものをお願いしています。

② 2021年に提供品受付リストが改訂されています。

下記のリンクからリストをご確認いただいた上で、ご提供ください。

新品のみ受け付け、となっている品物があります。ご注意ください。

<http://2nd-hand.main.jp/sh/join/gift/>